

# 財 政 非 常 事 態 宣 言

～いずみさの再生と発展をめざして～

泉佐野市では、これまで平成 12 年行財政改革推進計画をはじめ、平成 13 年行財政改革推進計画第二次実施計画、平成 14 年財政健全化計画を策定し、それら計画に沿って財政の建て直しに努めてまいりました。

しかしながら、長引く景気低迷や地価下落などにより市税収入が大幅に減少する一方、高齢化の進展などにより保険・福祉関係経費が増加するとともに、改善が困難な過去の借入金の多額の返済が今後も継続する状況にあることから、財政再建団体への転落が間近に迫ってきております。

また、さらに追い打ちをかけるように、国の三位一体改革における補助金削減、交付税削減、そしてこれに対する不十分な税源移譲によって、他の自治体と同様、大きな打撃を受けております。

財政危機は過去にもありましたが、ここ数年もその状態ではありますが、この状況に至っては泉佐野市の「自治」がなくなる財政再建団体転落を是が非でも阻止するため、徹底した内部管理経費の節減はもとより、市民生活にも影響する経費削減や受益者負担の適正化など、大きな痛みを伴う項目も実施していかざるを得ないものと考えます。

市民から市への要望事項は多々あるとは思いますが、この財政危機を乗り切るため、皆さまのご理解ご協力をお願いし、財政再建に取り組んでまいります。

次世代に大きな負担責任を転嫁することは絶対避け、「いずみさの再生」を果たした後は、必ず以前にも増した発展が待っているものと信じるものです。

平成 16 年 3 月 18 日

泉佐野市長 新田谷 修司